

荒俣宏 監修・ウサギノネドコ プロデュース



2022.1.22 sat. - 7.31 sun.

角川武蔵野ミュージアム4階

荒俣ワンダー秘宝館

多田 明田畠 Isuka Tada
馬場 恵 Megumi Baba
簪作家 葉 Shanzashi Jakae
村山 誠 Naoto Murayama
佐々木類 Jakuji Sasaki
鈴木 祥太 Shota Suzuki
ウサギノネドコ Usagi no Nedoko

荒俣宏 監修・ウサギノネドコ プロデュース

マンメイド 不自然な植物展



角川武蔵野ミュージアム
Kadokawa Culture Museum

会期:2022年1月22日(土)~7月31日(日)
角川武蔵野ミュージアム4F 荒俣ワンダーミュージアム
<https://kadcul.com>

植物の起源。それは今から20億年以上前に、海の中で光合成をはじめたシアノバクテリアに由来します。それから長い時を経て、植物は陸上へ進出し、花や種子を創造したりと進化を遂げました。

こうした植物の驚くべき神秘と生命力に感化されて制作された植物アートを本展示では取り上げます。アーティストの視点や作為が加わった

マンメイドな植物はどれも何かが極端で誇張された、いわば不自然な植物。しかし、そこには科学と芸術が融合した時にだけ生じるワンダーな魅力が満ち溢れています。7人のアーティストが植物とコラボレーションして作り出した不自然な植物。**光合成と想像力**がむすんだ植物造形の美をあなたの全感覚を駆使してお楽しみください。



同時開催企画展
本田亮「葉っぱでアート」
【半信半疑の地獄】
エリアにて

点線に沿ってラベルをお切りいただき、しおりや作品カードとしてご活用ください。



いつかは朽ちる押し花で作った **夢**する植物

作家名 多田明日香 Asuka Tada
作品名 flora

鮮やかな押し花で作られた女性の頭蓋骨。この作品には「生を象徴する花、死を象徴する骨」という二つの両極端なものが共存しています。そして今は鮮やかな押し花も、少しづつ死に向かって朽ちていく。どんなに美しいものも、でも美しいからこそ今が美しい。子の出産を通じて本作を手がけたという作家は、このfloraからは人生の節目の度に新たな気づきをもらっていると言います。美や死生にまで気付かれる作品です。

ワンダーを深める一冊のヒント
「フローラの神殿」はどこにある?

→ ET3 へGO!



一番美しい姿を図面化した **精密**する植物

作家名 村山誠 Macoto Murayama
作品名 Phal. Maiko Waltz

コチョウラン属(Phal.)の園芸品種である、マイコワルツ(Maiko Waltz)。このコチョウランを分解、観察、採寸し、まるで建築図面のように緻密に再構築したCG作品です。見どころは図面から浮かび上がるよう立体化されたマイコワルツの模型。これまで、作家の作品は平面図で完結するものがほとんどでしたが、本展示のために導入した3Dプリントで制作された意欲作です。

ワンダーを深める一冊のヒント
人間が設計した生命があるの?

→ ET6 へGO!



刻々と変化する姿を金属で切り取った **残像**する植物

作家名 鈴木祥太 Shota Suzuki
作品名 綿毛蒲公英 -群-

風に乗って綿毛の種を飛ばし、やがては枯れていくタンポポの姿は刻々と変化します。その一瞬を切り取り、タンポポのある風景を表現した作品です。作品に使われる材料は全て金属。植物の瑞々しい姿や枯れかけた姿も、金属そのものの色や鋸などで表現しています。またフワフワの綿毛を硬い金属で表現するのは作家が独自に開発した門外不出の技術。彼の作品でしか見ることは叶いません。

ワンダーを深める一冊のヒント
鉄にはどんな力が宿っているの?

→ ET5 へGO!



ガラスの中で灰となって刻まれた **永遠**する植物

作家名 佐々木類 Rui Sasaki
作品名 忘れじの庭 Unforgettable Gardens

植物は金で焼かれることで、真っ白な灰としてガラスに刻されます。植物が採取された土地の記憶は、タイムカプセルのように瑞々しく留まり、光を当てることで再び輝きを放ちます。作品をよく観察すると、白い灰だけではなく、黒く炭化した植物や土が残っていたり、多量の水分を含むことでガラスに穴が開いています。どんな植物が咲いていたか?その時の天気はどうだったか?など土地の記憶に思いを馳せながらお楽しみください。

ワンダーを深める一冊のヒント
ガラスに閉じ込めた最大の物とは?

→ ET8 へGO!



夢で見た一輪の花を実体化した **幻想**する植物

作家名 簪作家 栄 Kanzashi Sakae
作品名 青い彼岸花

「この世のものは思えない美しさ」がこの作品を形容するには最適かもしれません。あの大人気漫画の『鬼滅の刃』でも物語の要として登場する青い彼岸花。現実には青い彼岸花は存在しませんが、あの世(=彼岸)の花を具現化したら、このような美しい姿をしているかもしれません。試行錯誤の末に簪作家栄が辿り着いた、透明感と光に満ちた美しい青の表現は実物の作品でお確かめください。

ワンダーを深める一冊のヒント
この世にない「幻のバラ」はどんな色?

→ ET4 へGO!

光合成をやめてみた **異端**する植物

作家名 馬場恵 Megumi Baba
作品名 Cycle of Light -Umwelt- 光をめぐる環世界

5つの球体で構成された作品は、言うなれば「光合成をやめた植物」たち。菌従属栄養植物、部分的菌従属栄養植物と呼ばれ、根や茎で菌類と共生をし、そこから栄養を得ることで生きています。球体の作品の周辺には、球体を構成する植物が根のある状態で描かれています。その姿はどれもおおよそ植物とは思えない造形。イソギンチャク?昆虫?エイリアン?のような奇妙奇天烈な造形をお楽しみください。

ワンダーを深める一冊のヒント
植物が生きていくための仕組みとは?

→ ET9 へGO!



自然の力をしたたかに利用した **逞**する植物

作家名 ウサギノネドコ Usagi no Nedoko
作品名 風

植物は根を張るために、動物のように自ら積極的に動くことができません。だからこそ風、水、火など自然界の力を巧みに利用して、広範囲に子孫を残そうと果実や種子の造形を進化させてきました。中でも風を利用して遠くに種を飛ばすために「羽」をつけた種子の造形は多種多様。ヘリコプターのようにクルクル回転したり、グライダーのように滑空したり。飛行機のモデルになった種もあり、どの種がそれに当たるか探してみてください。

ワンダーを深める一冊のヒント
鳥は羽を使ってどう飛ぶの?

→ ET6 へGO!



不自然な植物展で植物アートに
刺激されたあとには、
ET(エディットタウン)で、
ワンダーを深める本を探してみませんか?

※作品の下の「ワンダーを深める一冊のヒント」を元に、
ET(エディットタウン)で本を探してみてください。